

JNSA電子署名WG五月祭、もう紙の時代じゃない！

電子署名が支える未来

2016.5.23

きこりソフト 長島健一



Software As a Strategy

THINKING WOODMAN™

自己紹介

- ▶ 1996年 某メーカー入社 サーバホスティングの運用・開発に従事。
- ▶ 1999年 技術開発部門へ異動。電子フォーム関連開発、事業部技術支援に従事。
- ▶ 2001年 同研究部門へ異動。
e-Japan対応電子署名ミドルウェア、著作権保護ミドルウェアなどの研究・製品化・販売なんでもPM。 その他ワークフローシステムの研究開発。
- ▶ 2007年 本社情報システム部門へ異動。
文書・情報管理、個人情報授受システム等の検討・設計などの施策推進に従事。
- ▶ 2011年 某メーカー退社、ぷーたろー人生の夏休み。社会研究。
- ▶ 2014年 現個人事業開始。細々と食いつなぐ。
- ▶ 2015年 **JNSA電子署名WGに参加。10年ぶりのPKI業界。**
- ▶ 2016年 これから本気だす♪

きこりソフトについて

- ▶ ITを活用した経営・業務改善SIコンサルティング
- ▶ 組織内外の意思決定・利害調整の支援
- ▶ 上記関連ソフトウェアの開発・販売
- ▶ 社会問題の研究
- ▶ 若者の思考・議論能力育成の支援

<http://kikorisoft.jp/>



はじめに

- ▶ 本セッションでは電子署名の必要性について、社会的背景から俯瞰します
- ▶ 電子署名の話に辿り着くのは中盤になります(^^;
- ▶ 内容は長島個人の見解です。JNSAその他の団体・組織等の意見を代表するものではありません
- ▶ そんな私に寛大な皆様に、深く御礼申し上げます

今社会では何が問題なのか？

社会の利害調整が破綻しつつある危機

- ▶ リーマンショック
- ▶ 地域紛争、テロ
- ▶ 格差社会
- ▶ 移民問題
- ▶ 各国の経済危機
- ▶ パナマ文書
- ▶ 資源問題
- ▶ 迷走する政治

利害調整を困難にする環境要因

情報量の増大

人口の増大

グローバル化

変化が早い

資源の相対的減少

人材

モノ

カネ

利害調整を困難にする技術要因

紙文化の限界

複雑な関係を
表現できない

伝達が遅い

作りっ放し

変更を共有しにくい

口頭伝達の限界

複雑な関係を
表現できない

正確性に欠ける

残らない

解決するには・・・

情報量

ITで利害調整の
社会プロセスを強化する
必要がある！

口頭の
限界

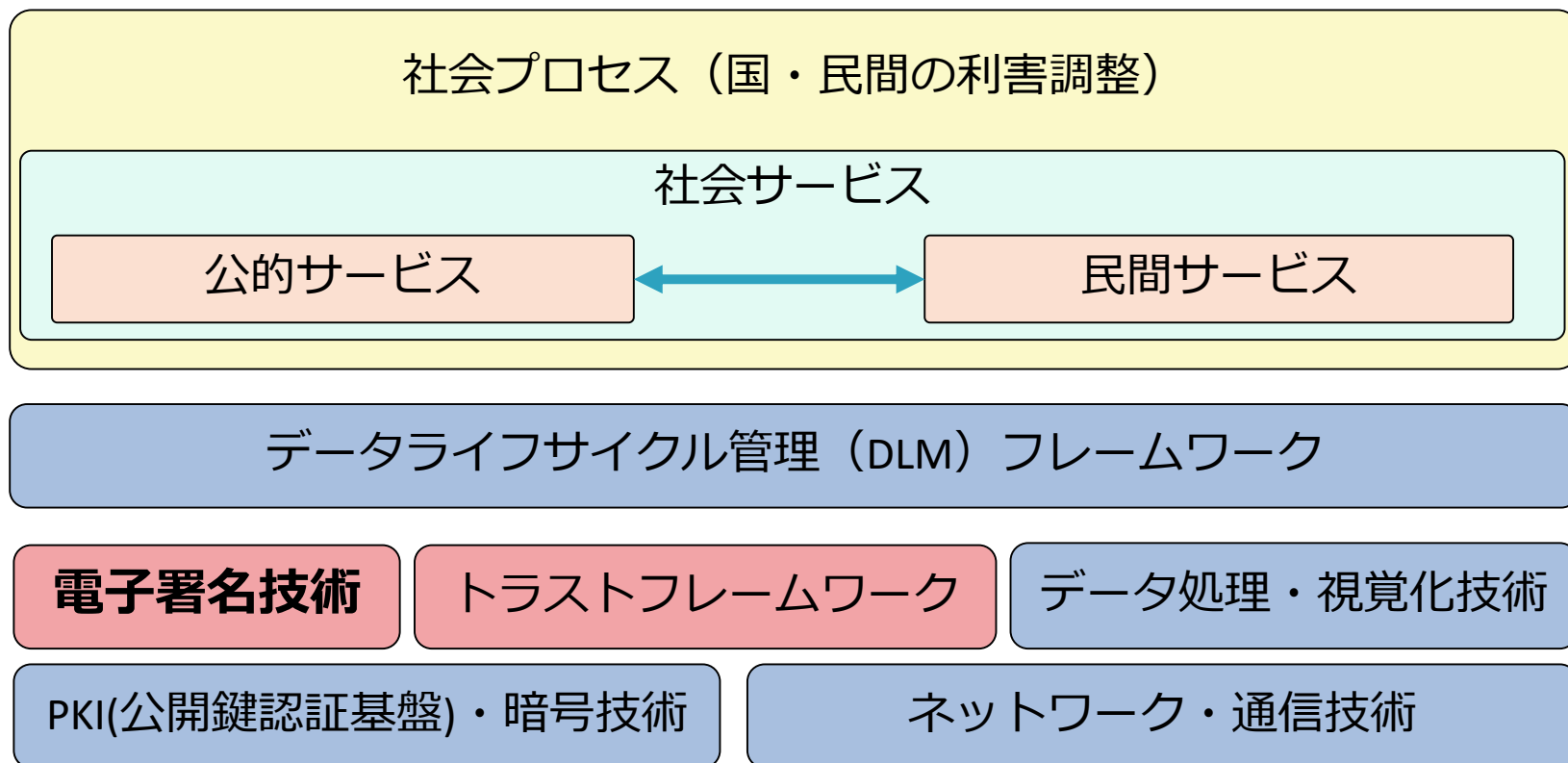
電子署名の出番です！（ようやく本題）

- ▶ 電子署名が重要な社会インフラになる脈絡を、
「仮想国家戦略」のマップでみてみましょう！

電子署名普及の現状

- ▶ 法的・技術的基盤整備、国民周知、利用はごくごく一部の分野に留まる
- ▶ マイナンバーは、アイデンティティ普及の大切な第一歩だが、住基カードのやり直し感は否めない
- ▶ 技術分野で世界に貢献する日本、政策・サービス面の整備で先行する欧米
- ▶ なんか、苦勞させられてオイシイところは持ってかれるいつもの展開？！

電子署名普及の階層イメージ



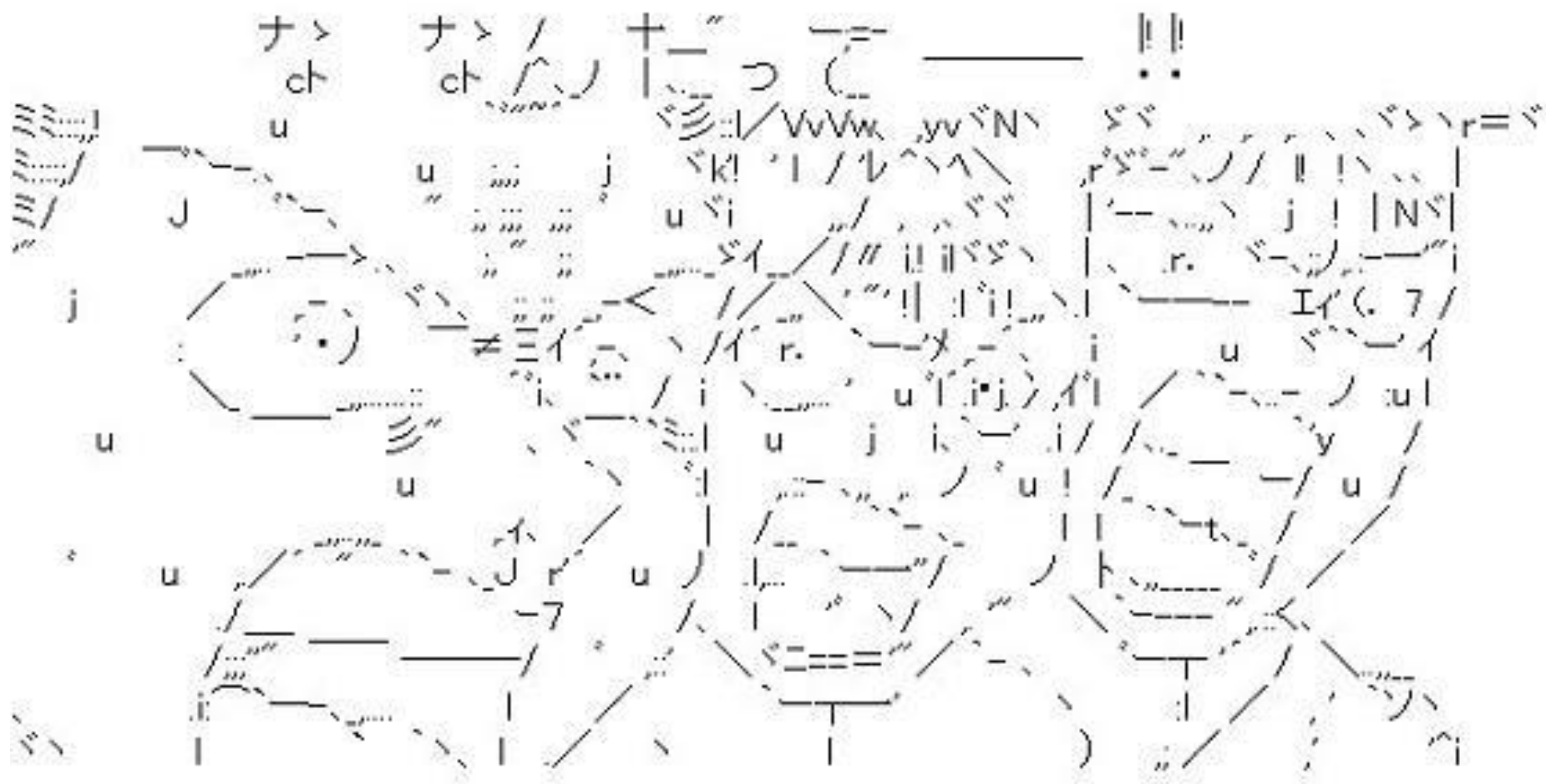
問題はなにか？

- ▶ なんのための電子署名か、国家的ビジョンがない
- ▶ 普及のための責任ある主体の不在（タテ割り）
- ▶ 手段偏重で社会プロセス・サービスレベルの基盤整備がない
- ▶ 人材不足

そもそも・・・



©2016 きこりソフト Thinkingwoodman Software All Rights Reserved.



電子署名を活かすには 契約社会を理解する必要があるかも・・・

日本

評判社会

暗黙知

属人＝情

手段重視

欧米

契約社会

形式知

文書＝論理

目的重視

電子署名

IT

夢の電子署名の未来へむけて

- ▶ まずは現状把握
- ▶ 戦略を語り合う、まとめる
- ▶ 人をあつめる

まとめ

- ▶ グローバル化で生き残るため社会のIT化が必要
- ▶ 電子署名はその柱となる重要技術基盤
- ▶ 普及・活用するには、契約社会の理解が必要

ご清聴ありがとうございました！